

# 大宮通信

大宮中学校 学校だより  
第100号 2025.12.8

## 気づく力をみがこう～人権週間～



先週の火曜日、人権集会を行い、「言葉のつかい方」について考えました。集会のあと、教室でワークシートを書いてもらいました。みんなのふりかえりを読んで、大切な気づきが多くあったので、いくつか紹介します。

- 言い方によっては、受け取り方が人それぞれだから、どう言ったらよいか考えながら発言する。
- 自分がよかつたらよしじゃなくて、周りは困っていないかもしっかり考えて生活する。
- 受け取り方を変えてみようと思いました。発し方も気をつけてみようと思いました。
- 仲よくなるにつれ、確かにみんなの言葉がきつくなったり自分の言葉がきつくなっているなと思っていたから、言葉づかいを正そうと思った。
- 仲の良い友だちや家族でも、言葉づかいに気をつけて接するべきだとあらためて思いました。いくら仲がいいからと、きつい言い方をするのはよくないし、もし言ってしまった時はしっかりあやまるべきだと思いました。

さて集会のあと、言葉づかいについて、何か気づいたことはあったでしょうか。「うまく伝えられた」「もう少し工夫して伝えればよかった」など、ふと感じた場面はあったでしょうか。自分自身だけでなく、友だちの言葉づかいについて、何か気になったことがあるかもしれません。

ぜひ、“自分はどうかな?”とふりかえりながら、これからの中学校生活の中で、人とのコミュニケーションをよりよくしていってください。

12月4日から10日までは、「人権週間」です。全国で人権に関するさまざまな取り組みが行われています。本校でも、各学年・クラスで人権について学習しました。

人権学習の場面ではよく、「この中でおかしいと思うことを探してください」という課題があります。いわば“まちがいさがし”です。おかしいことは必ずどこかにかくされているので、見つけることができます。

しかし、実際の世の中ではどうでしょうか。「ここがおかしいよ」とは書いていません。だれかが「ここがおかしいよ」と言ってくれることもありません。

だからこそ、自分で気づけることが大切です。気づける人になることが、人権を大切にできるということです。